

# Go To Way!!

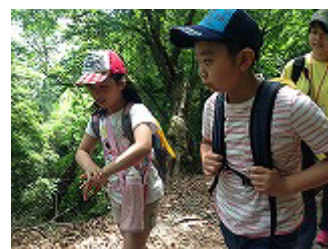
～バディ！OK！！～

## IN 東山トレイル

活動日時： A…5月17日（土）  
B…5月18日（日）

活動プログラム：

午前	集合・あいさつ	今回はより友達と一緒に活動を楽しんでもらうために、『バディ』を組んで山を登ってもらおうよ。普段の京っこでもあまり話したことのない友達と一緒に登っていこう。バディ同士しっかりとあいさつをしよう。よろしくね。
	バディ発表	
	登山スタート	バディと何を話したらいいのかな？どう接したらいいのかな？話することってこんなに難しいことだった？みんなで今バディに思っていること、感じていることを振り返ってみよう。
	昼食	振り返りや険しい登山を経ていくうちに、徐々にバディへ自分の気持ちを伝えるようになってきているね。昼食の時間を有効に使って、もっとバディと距離を縮めていこう。
午後	下山	バディ同士自然と手をつないだり、注意を促しあったり、支えあったり、相手を意識して行動できているね。会話も午前中より沢山聞こえているよ。さあ、ゴールまでもう少しだ。
	振り返り・解散	今日一日、バディと一緒に活動をしてどうだった？伝えたいけどその一步が踏み出せないもどかしさを感じたね。その一步を踏み出せたときの嬉しさ、楽しさも感じたね。今日一日感じたことがこれからの生活や活動で必要となってくるんだよ。忘れないでね。



### <全体感想>

今月の活動はメンバーにとっていつものグループ活動と違い、バディ（相方）もこちら側で予め決められた普段話したことのないメンバー同士で組み、しかもそこに登山ということもあり、非常に難しい内容だったと思います。活動当初は無言のまま歩き続けていました。初めの振り返りでは、『バディへの気持ち』を聞いてもバディという存在が参加者の中にしっくりきていないため、意見は「別に…」でした。しかし道中も険しくなり、心身共に疲労が見えてくると、皆は自分で考え、動きました。学年層が違うグループでは、お兄さん、お姉さんが手を取り、学年が近い者同士では学校の話や、興味の話などで盛り上げていました。メンバーの誰もが「この状況をどうかしたい！」という気持ちがあることが見てわかるほど、もじもじと葛藤されていました。そしてその状況を自分たちの力で打破しました。

子ども達は、我々大人が思っている何倍もの力を持っています。つい我々大人は見限って手をだし、その力を引き出せる環境を奪ってしまっています。子ども達が自身で考え、本人なりの答えを出した事に対してどう評価するかが我々の務めだと考えています。今月の活動は、参加者皆さんにとって、難易度の高い活動だったと思いますが、達成感や満足度は大きかったと思います。（竹中 哲郎）